

掛江正之

かけえ・まさゆき

福山誠之館校長(第18代)

経歴

生:明治40年(1907年)5月4日、広島県芦品郡国府村大字高木(現府中市高木町)1164生まれ

没:昭和60年(1985年)3月、享年77歳

大正9年(1920年)3月28日	13歳	芦品郡国府尋常小学校卒業
大正14年(1925年)3月3日	18歳	広島県立福山中学校(誠之館)卒業
昭和4年(1929年)3月7日	22歳	広島高等師範学校物理科学科卒業
昭和4年(1929年)3月31日	22歳	尾道中学校教諭
昭和16年(1941年)3月31日～24年(1949年)4月	34～42歳	広島県立府中中学校教諭
昭和18年(1943年)3月31日	36歳	広島県立府中中学校舎監兼任
昭和24年(1949年)4月30日	42歳	広島県戸手高等学校教諭
昭和27年(1952年)4月1日	45歳	広島県市高等学校(御調)校長
昭和29年(1954年)4月1日	47歳	広島県塩町工業高等学校(三次)校長
昭和32年(1956年)4月1日～36年(1961年)3月31日	50～54歳	広島県廿日市高等学校校長
昭和36年(1961年)4月1日～40年(1965年)3月31日	54～58歳	広島県福山誠之館高等学校校長
昭和40年(1965年)4月1日～44年(1969年)3月31日	58～62歳	広島県尾道商業高等学校校長
昭和44年(1969年)3月31日	62歳	定年退職
昭和58年(1983年)2月15日～60年(1985年)3月	74～76歳	誠之館百三十年史編纂委員長
—	—	福山誠之館同窓会顧問

生い立ちと学業、業績

いつの時代にも教職員・生徒・保護者が校長に求める人間像は、「理想」を持ち、それを具現する「実行力」であろう。

その意味で福山誠之館高校は昭和36年(1961年)、願っても得られない人材を得た。

「戦後も終わった」と言われて数年を経、外に皇太子のご成婚から東京オリンピックへの高揚期、内に小学区制から中学区制への移行と追風に乗ってこの校長は極めて多くの独創的な施策を推進した。

一 学校移転の構想

本校の三吉町校舎は手狭ではあったが、昭和35年(1960年)には最新の理科校舎が完成するなどその場所での充実を計画していた時に、この校長の移転計画が突然浮上した。「昭和36年(1961年)4月に、掛江校長が本校の校長に就任するに及んで、状勢は一変することになった。」と『誠之館百三十年史』は驚きの口調で書く。

そして、「掛江校長が誠之館百年の大計を立てることを提唱した」とする。

この「百年の大計」が県教委の広すぎるという反対を押し切って現在の校地を確保させることになったとすれば、誠之館はこの人をもって新しい時代に入ったと言ってもいいであろう。

二 人間の館

「附属は秀才を作れ、誠之館は人間を作る」と言って、教職員、生徒の奮起を促した校長は、人間を作る指導として数々の新施策を実行する。

例えば以下のようなものである。

- ① 池田潔「自由と規律」(岩波新書)の全員講読運動
- ② 全校鍛錬遠足の実施
- ③ 修学旅行を廃し、山陰キャンプ旅行実施
- ④ 入学式直後の「新入生交歓合宿」の実施
- ⑤ 柔道・剣道の寒稽古の実施

これらの施策すべてが以後ずっとつづけられたわけではない。しかし、その実行から生み出された校長の現状打開への意志は脈々と受け継がれた。

三 最後の言葉

いろいろな施策を実行しながらその実りを見ないまま昭和40年(1965年)4月他校に転ずることになった校長は、最後の職員会議で、入学試験の公正化をしようとして左遷だとして別れを悲しむ教職員に対して「どこにも生徒はいますから」と言ったという。

この校長の去った後に、誠之館高校は戦後最も光り輝く時を迎える。

蒔いた種は着実に実をつけた。

「私は百姓の子でがんす」というのが口癖だったという校長は、あるいは生徒を育てることと作物を育てることを重ねていたかもしれない。

そのどちらも長いスタンスでしか考えられないこととして。

また熱意あれば必ず実を結ぶものとして。

「人間教育」「百年の計」はまさにこの豪放磊落な校長にふさわしい言葉であった。 松岡義晃(昭和28年卒)

出典1:『誠之館百三十年史(下巻)』、297頁・後記、福山誠之館同窓会編刊、平成元年3月31日

出典2:「福山誠之館新聞(第68号)」、福山誠之館高校報道課発行、昭和36年4月29日

出典3:『創立八十周年記念誌』、広島県立府中高等学校創立八〇周年記念誌編集委員会編、創立八〇周年記念誌事業委員会刊、1993年3月10日

2004年12月17日:更新●2005年2月1日更新:本文●2005年4月6日更新:本文●2006年3月28日更新:本文●2007年10月16日更新:経歴・出典●2007年11月14日更新:経歴●2008年2月19日更新:経歴・本文●2008年6月18日更新:経歴●